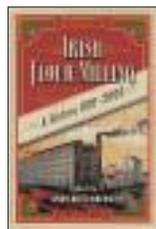


L'horloge

Osaka Gakuin University
Public Relations Bulletin

ロルロージュ No. 126
July 2004



『IRISH FLOUR MILLING』
武井 章弘 経済学部 助教授 共著
The Lilliput Press



『現代アメリカ産業組織論』
三十木 健 経済学部 助教授 著
多賀出版



『徳川家の能』
宮本 圭造 国際学部 講師 共著
日本芸術文化振興会

大阪学院大学広報

L'horloge ロルロージュ No.126
July 2004

- 発行 大阪学院大学
大阪学院短期大学
- 編集 広報部

〒564-8511
吹田市岸部南二丁目36番1号
☎(06)6381-8434(代表)

URL
<http://www.osaka-gu.ac.jp>

編集後記

2004年の世界経済は夏に入っても堅調を続けている。日本にとってむしろ嬉しいことである。ところで最近、新聞の経済欄で"BRICs"という言葉をよく目にする。ブラジル・ロシア・インド・中国のことだ。「これらの国々が今世紀の新興大国になる」と、ゴールドマン・サックス(証券会社)のレポートによって予測され、話題になっているのである。失われた10年によって、いささか意気沮喪した日本人から見ると、心中穏やかでいられないであろう。しかし、このレポートによると、2050年の経済大国のGDP(国内総生産)の順位は、1位 中国、2位 米国、3位 インド、4位 日本、5位 ブラジル、6位 ロシア、7位 英国となっている。日本は中国・インドに抜かれるはするものの、依然として4位と予想されているのは心強い。

本学を巣立った校友が、社会でますます活躍されることを大いに期待するとともに、学生諸君の飛躍を願っている。

ESSAY

『秋のメルボルンに
学生と行く』

鎌河 宏司

FOCUS

ユニバーシティクラブ
指導者紹介 Vol.2

SUCCESS

伝統に導かれる
未来への扉

CAMPUS LIFE

CAMPUS NEWS DIGEST

INFORMATION

新刊紹介

『秋のメルボルンに学生と行く』

今年3月初旬の12日間、4名の学生と共にメルボルン（オーストラリア）に行ってきました。当初は、私が企画したプログラムを、国際センター主催の夏期海外テーマ別研修「オーストラリアで働く日本人を知る」として実施する予定でした。ところが、残念ながら参加希望者の人数がテーマ別研修として実施するための最少催行人数に満たない結果となってしまいました。しかし、せっかく参加を希望し、申し込みをしてくれた4名の学生のやる気と可能性を無駄にしたいとは思わず、フィールドトリップ（研究調査旅行）として、彼らをオーストラリアに連れて行くことにしました。現地では、多民族国家オーストラリアの日系企業や在豪日本人組織の責任者にインタビューを試み、異文化社会における日本人の経済活動を研究することが主な活動内容となりました。

今回私と共にオーストラリアに行った4名の学生は、必ずしも全員が経済学や経営学に熟知しているわけではありませんでしたが、それぞれ事前学習を経て、ホームステイも体験しながら、連日活発なインタビューを行いました。ここでは、学生たちのインタビューをご紹介します。

【3月9日(火) 午後2:00~午後3:30 株式会社ヤクルトを訪問】

ヤクルト 大塚社長
国際学部 高原君、門河君
企業情報学部 青柳君、木下君



挨拶と各人の自己紹介の後、大塚社長による会社説明を経て、インタビューを行いました。以下はその一部です。

門河君：ヤクルトの製品にはどのようなタイプのものがあるんですか。

大塚社長：皆さんご存知の飲料タイプのほかに、スプーンですくうソフールタイプもあります。さらにヨーロッパでは砂糖を抑えたヤクルトライトも販売しています。

門河君：メルボルンでは、どのような製品を生産しているのですか。

大塚社長：ソフールタイプはまだ設備がないので生産していません。ヤクルトライトなら同じラインで生産可能です。

青柳君：製品の原材料の牛乳はそれぞれの国のものを使用しているのですか。

大塚社長：オーストラリア、ヨーロッパは粉乳が生産されているので、それぞれの生産地のものを使っています。よってメルボルンでは現地調達をしています。日本はまだ牛乳の自由化をしていないので、オーストラリア・メルボルン産の粉乳の使用は日本のヤクルトではまだ少ないのが現状です。

木下君：オーストラリアでヤクルトが占める市場の割合はどれくらいですか。

大塚社長：約90%を占めています。

高原君：オーストラリアのヤクルトを飲んで、日本のものと味があまり変わらないと感じたのですが、各国により味や風味の点で工夫なさったことはありませんか。

大塚社長：まず、毎日飲んでいただくためにどうしたらいいのか苦労しました。味については好まれているようで、国が違っても変わらないようです。乳酸菌に対する意識は多くのヨーグルト製品が販売されていて、アジア諸国と違って消費者への浸透は苦労しませんでした。

門河君：こちらに赴任されて苦労されたことは何ですか？

大塚社長：10年前にオーストラリアヤクルトができ、私はその4~5年後に赴任しました。すでに仕組みが出来上がっていたので、それほど苦労はしていません。オーストラリア特有の習慣も見極めながら、オーストラリアにはなかった提案制度を取り入れたりしています。また弊社以外の日本企業のサポートも行っています。

木下君：値段はどうやって決まるのですか。



鎌苅 宏司 経済学部 助教授

主担当科目：公共経済学

趣味：絵画鑑賞

著書：『ミクロ経済学から公共経済学へ』（共著）



大塚社長：生産コストやそれぞれの国の購買力を反映しています。1本あたり日本では40円、オーストラリアではオーストラリアドルが高いため60円としています。製品の生産コストは日本よりも圧倒的に安いです。提案制度の一例としてヤクルトレディによる宅配を3~4年前から導入していますが、なりてが非常に少ないのが現状です。なぜなら配送エリアが広く、配送コストがかかるため非常に小規模な取り組みでしかないからです。これらをどのように改善していくかがこれからの課題の一つといえるでしょう。

青柳君：オーストラリアの雇用事情についてお聞きいたします。転職率は高いですか。また、失業率は高いようですが……。

大塚社長：転職率は高く、それは主にスキルアップによるものです。失業率は約7%ですが、実際は日本の5%と同じくらいでしょう。それは転職に伴い一時的に失業しているためであり、慢性的な失業状態になりからです。私たちの場合、転職率は製品が売れていないときは高かったのですが、売れてくると低くなり、辞めなくなった傾向にあります。工場には5年あるいは10年のキャリアを持つ従業員も多いことから、仕事にやりがいがあると転職率も低くなるようです。

高原君：社員は現地のかたですか。出身地はどこですか。

大塚社長：出身地は様々です。オーストラリア人は工場では30%、そのほかは中国、フィリピンなどです。また、営業担当はオーストラリア人が多いようです。

高原君：日本人は何人くらいおられますか？

大塚社長：5人です。セールス担当者が2人、品質管理や機械を工場で見ている者が2人です。最終的な仕事の責任は日本人社員が執る体制です。

最後に皆さんに一言お伝えします。将来、海外で働きたいと考えているなら、まずその国の言語をマスターするよう心掛けてください。ここでは日本人の英語力がいっばん弱いです。移民してくる外国人は「一生ここで食べていく」という気概がありますが、日本人は一時滞在者が多く、すぐに帰国してしまい、お互いの関係がほとんど深まらないのはそんなところにも原因があるのかと思います。

いかがですか。私のメモ帳から学生たちとヤクルト大塚社長との一問一答の一部を抜き出してみました。

このほかに学生たちは、フロリジン社の芦刈社長、ジャパンプックプラザの龍里取締役、メルボルン市庁の経済担当責任者、日本領事館の平岩領事、JETROの早瀬所長と平野調査部長、日本商工会議所の野口局長、そしてオーストラリア日本人会の吉沢代表に会い、彼らからのレクチャーを受けた後、各人が調べてきた内容を基にインタビューを行いました。さらに、面談の合間をぬって訪れたメルボルンの動植物園では、メルボルン大学の関口先生の初級日本語クラスの授業をお手伝いし、2名の日本語学科の学生とともにキャンパス内を見学、ランチを食べながら親善交流も経験しました。



いよいよ帰国を明日に控えた日に、学生たちにこのフィールドトリップの感想を聞いてみると、「メルボルンでの経験をこれからの人生に生かしたい」「国外に広く目を向けることができた」「海外で働きたいというあこがれも強くなってきているので、この経験を今後どう生かすか考えていきたい」など、彼らがオーストラリアで充実した日々を送り、多くの人々との出会いから知的好奇心が刺激された様子がうかがえました。帰国後、彼らは調査結果とインタビューの内容をふまえてそれぞれ研究レポートを作成しています。

私としては、今後もより多くの学生がこのような経験をすることができるようなフィールドトリップや、研修の企画とプログラム内容の充実のために尽力していきたいと考えています。



前回 (No.125) に引き続き、本学ユニバーシティクラブで熱心に指導を行う指導者を紹介します。

ユニバーシティクラブとは？

本学を代表するクラブとして指定された強化クラブをユニバーシティクラブと呼んでいます。

優れた人材の育成と本学の活性化を目的とし、在学生だけでなく卒業生の愛校心や所属意識を高めることを目標にしています。



バスケットボール部

バスケットボールはアメリカを筆頭に、世界各国ではメジャースポーツであり、日本でも昨年度からプロ化を目指し、スーパーリーグが発足されました。

私も就任3年目を迎え、一人でも多くの選手が夢の舞台上で活躍できるよう指導しています。

我々のチームは、みんなで同じ目標に向かって精進・努力し、「学生らしく素晴らしい」「ゲームが見てみたい」と思われ、応援されるチームでありたいと思っています。そのためにはプレーはもとより行動・態度においても一流を目指さなければなりません。

チーム全員一丸となって新しい歴史を作るため、日々努力しています。



行広 伸太郎 監督

2002年 バスケットボール部監督就任
国民体育大会 元大阪府代表監督
財団法人 日本体育協会スポーツ指導員
日本バスケットボール協会公認コーチ

陸上競技部

昨今、「勝ち負け」にこだわるのはあまり好ましくないという風潮があります。しかし、私は「勝負」ということは大変重要であると考えています。人間は「勝つ」ということを目指すゆえに一生懸命努力し、そして自分という人間を「知る」ことができるのだと思います。本学陸上競技部の学生にも、ぜひ勝ち負けにこだわる競技生活を送ってほしいと願っております。

大阪学院大学陸上競技部で世界に羽ばたく選手を育てていきたいと思っています。



吉嶺 真 監督

2003年 陸上競技部監督に就任。
「運動生理学」という視点から長距離走のトレーニングを研究、指導者として全国高校駅伝出場の経験を持つ。今後は全日本大学駅伝上位入賞を目指す。



ラグビー部

ラグビーの試合は、瞬時にプレーが進行するので、フィールドの中では選手一人ひとりが適切に状況を判断しなければゲームはうまく進みません。

個々のスキルアップはもちろん必要ですが、ただ単に教えられたことをそのまま取り入れるだけではなく、各自が実行しながら答えを追求していくことが大切です。その習慣があるかどうかで、選手の伸びが違ってきます。まず、「できること、できないことはあるがそれを切り開いていく勇氣」が大切だと思います。

今後、社会のフィールドに出たときも同様であり、自立するためのヒントを見付け、責任の意味を身につけること。それがラグビーを通じて部員に伝えたいことです。



田代 義晴 監督

2003年 ラグビー部監督に就任
(株)ワールド ラグビー部現役を経てコーチを務める。
国民体育大会にて兵庫県代表の監督として全国優勝の経験あり。



サッカー部

サッカーの現場で選手たちの指導を行って30数年。プロチームでも大学チームにおいても「試合に勝つ」ためにしなければならぬことは同じであると考えています。簡潔に言えば、「相手チームよりあらゆる面において上回ることである」といえるでしょう。情報分析、練習内容、環境面、食事など、当然大学生として勉学面も含め、すべてにおいて相手より「1ミリ」でも上回ることができれば、最終的に頂点に立つことができると確信しています。すべての面において上回るといことは大変難しいことですが、方策を練り、チーム一丸となってこの「1ミリでも上回る」ことを追求していきたいと考えています。



加茂 周 総監督

2003年 サッカー部総監督に就任
サッカー日本代表監督をはじめ、Jリーグ数チームの監督などを歴任。
現在は、NHK BS Jリーグ解説者としても活躍中。1969年 F.I.F.A コーチングライセンス取得



ユニバーシティクラブの試合結果については、ホームページで速報を掲載しています。

そのほかにも、クラブ活動状況・スケジュールなどたくさんの情報を提供しておりますので、ぜひ本学ホームページのクラブ情報をご覧ください。

URL : http://www.osaka-gu.ac.jp/club/cl_frame/u_index.html





伝統に導かれる未来への扉

～大阪学院大学OBが語る～

～ 座談会出席者 ～ (順不同)

平井 誠一 株式会社 西利 代表取締役専務
商学部 平成3年卒業

国際学部 教授 片山 邦雄 広報部長

企業情報学部 教授 小倉 康三 広報部長代理 (司会)

[片山] 今回は、卒業生のかたをお招きして在学生にエールを送っていただくこと、株式会社 西利の平井 誠一代表取締役専務にお越しいただきました。進行は小倉教授にお願いします。



片山 邦雄
国際学部 教授
広報部長

[小倉] 平井さんは、平成3年本学の商学部をご卒業されたわけですが、大学時代の様々な思い出や、卒業されてから現在に至るまでの経験談、同時に、株式会社 西利は京漬物の非常に伝統のある有名な会社ですが、伝統を守る難しさ、経営のお話、将来の展望も含めてお話しいただきたいと思います。

[平井] 私の大学生活は、まず最初にクラブを探すことから始まったように思います。最終的にはゴルフ部に入部したのですが、理由は運動をしたかったことと、仕事を始めたら接待ゴルフに役立つこともあるだろうといった程度のことでした。しかし、いざ入部すると、とても強くて厳しいクラブだったんです。ここから大学生活が始まったわけですが、クラブ活動をしている時間と授業に出席している時間を比べると、クラブに出ている時間のほうが長かったというのが正直なところです。

ただ、クラブ活動だけに熱中していたわけではなく、セント・トーマス大学の夏期研修に参加したり、ゼミでは古田先生にいろいろな相談にも乗っていただきながら、様々な経験をさせていただきました。

今になって、もう一度大学に行きたいと思うようになってきました。今、大学時代の教科書を読み返してみると非常におもしろいです。「学問の分野では経済をこういうふうの評価しているんだ」ということを感じるわけです。在学生へのアドバイスということになるかもしれませんが、今から考えると大学生というのは、自分の意思で自由に授業を受けられる。どれだけ授業を受けても、どれだけ先生に質問しても、学費は全く変わらない。学生時代は、勉強はやらされているものという受け身の姿勢だったのですが、今から考えると、もっと積極的に取り組んでおけばよかったと、反省することばかりです。



平井 誠一
株式会社 西利 代表取締役専務
商学部 平成3年卒業

[小倉] 管理会計がご専門だったんですか？

[平井] 原価計算のゼミを受講していました。原価計算論を勉強していくうちに、原価というものに対して興味湧いてきて、それを重点的に

勉強したように思います。というのは、実家の商売が漬物屋ですので、野菜を扱うことが多いのですが、野菜というのは中央市場で競りにかけられて、相場によって価格が左右されていくわけですよね。豊作のときは安く、不作のときは高くなるという論理の中で、原材料の原価は安定しないのに、漬物の販売価格は固定しなければならない。この部分に興味を持ったわけです。

ちょうどそのころ、当社では契約している農家のかたがたに、決まった野菜を決まった数だけ安定して供給してもらう「契約農家」方式を採用し、私自身も家業に携わり始めたところでしたので、なんとか原価を安定させられないものかと頭を悩ませていたのです。

自分たちの選んだ種が希望どおりの育成方法で育ち、望んだ時期に納得のいく品質の野菜が出来上がる、こういうことを実践したかったわけです。

当初は、農家との信頼関係を築くのに時間がかかり、難航したことを覚えていています。

[小倉] 西利さんの経営の取り組み方に何か特長はありますか。



小倉 康三
企業情報学部 教授
広報部長代理

【平井】 会社案内にも書かせていただいておりますが、「旬 おいしく、やさしく」をモットーに、すべての仕事に従事しています。野菜を扱っていますから、旬を大事にしていきたいし、「顧客ニーズ」という旬もしっかり取り入れていきたいと考えています。もちろん食べ物を通じておられますので、おいしくなければいけないと思いますし、何よりも優しくないといけない。これは商品に対してもですが、お客様に対しても、そして仲間に対しても優しくないといけない。これらのことを常に仕事の目標として進めてきました。お客様に対しての優しさは、商売の基本でもあります。「安心・安全」と「信頼」であります。前述の「契約農家」の制度も今は当たり前になってきていますが、品質への絶対の安心をお届けするのにも大変有効でした。

【小倉】 その優しさやきめの細かさ、ひたむきな物作りには、創業以来受け継がれてきた西利さんの家訓であ



る「塩かげん」と「三つの心“きめこまかな心、おもいやる心、わかちあう心”」が大きく影響しているのでしょうか。

【平井】 この「塩かげん」と「三つの心」は、人とかかわり方を鋭く示唆している言葉だと思います。最近よく、「自分の性格や考え方はいつ生まれたのか」ということを考えます。子どものころは親と過ごしている時間が多いわけですから、親の影響を受けていると思うのですが、その後は友達や学校の先生の方が大きなウエイトを占めます。そして、社会人になって仕事を始めると、親や友達以上に様々なかかわりから影響を受けた気がします。ですから、仕事を通じて、人とかかわりを大切に考えていくことが、もしかしたら企業としていかに必要なことかな、ということを感じています。

お客様とかかわりを通じて人間性を高めていきたい。そしてその原点はこの「三つの心」であると、社員一同考えています。

【小倉】 西利さんはいろいろな京漬物を作っておられますが、伝統的な京漬物だけではなく、新しい物にもチャレンジされていますよね。そのあたりを詳しく聞かせていただけますか。

【平井】 物作りの精神という話を少しだけさせていただきたいと思います。我々の物作りは、全く何もないと



ころから新しいものを作っているわけではないわけではありません。伝統の継承の中からこそ生まれてくる新しいものの創造を目指していききたいと思っています。

ほとんどの商品を、この「伝統の継承と新しさの創造」から作り上げているのですが、新商品の「健康漬物 ラブレ」に含まれる乳酸菌も“すぐき”という伝統的な漬物の中から発見されました。日本に古来より存在した乳酸菌を伝統的な京漬物から再発見し、それを現代の科学で分析した結果、健康を切り口とし、新たな特徴を表現した商品としての価値を高めることで新たな伝統を作り上げる一歩となりました。これこそまさに「伝統の継承と新しさの創造」

だと感じます。

最近ありがたいことに雑誌や新聞の取材を受けると、西利という会社は「新しいものにチャレンジする精神がある」とか「時代の先が見える企業である」という評価をいただくことが多いのですが、私はそういうつもりは一切なく、時代の先はだれにも見えないと思ってるんです。「多分、神様にしか分からない」となると我々は「旬 おいしく、やさしく」というテーマを守ることと、「伝統の継承と新しさの創造」ということを同等に考えているという部分がうまく時代の流れに合致し、そういう評価をいただいているんじゃないかと思っています。

【小倉】 いつごろから家業に携わってこられたのですか。

【平井】 漬け込みは中学のときからしていましたし、あまり大きな声では言えないのですが、12月はお歳暮時期で忙しいものですから、ずっと工場や売場に入ったり、「12月は学校なんかに行ってる場合じゃない」と言われていました。

【小倉】 では、ずっと学業と家業を両立してこられたわけですね。学生時代に学ばれて、今の仕事に役立っていることはありますか。

【平井】 学生時代にはいろいろなことをやってきたのですが、当時は後々のためになると思ってやっていたことはほとんどなく、反対に後でためになると思ってやっていたことが、案外役立っていないことが多かったりしますね。商学部としてはあまり関係ないと思いつながら出席していた

民法の授業で学んだことが役に立ったり、大学時代の本がたまたま残っていて、「ああそういえば……」と思って読み返すと、おもしろくてのめり込んでしまったりしています。

今になって、もう一度学問をしてみたいという気持ちが自分の中に湧いてきています。今は、商売の世界に身を置いているのですが、自分の考え方や、経験してきたものは、学問の中で照らし合わせてみると合っているのか間違っているのか。自分の経験と学問を闘わせてみたいとよく考えます。経済学などを研究されている先生がたと、一緒にディベートをするような機会を持てたら、とても楽しいだろうなと思いますね。

そう考えると、大学時代に先生を訪ねて研究室に押しかけていけば、もっと違う発見ができただろうなと思うのですが、多分そういう気持ちは、学生時代には芽生えてこないものなのかもしれないですね。

恥ずかしい話、在学中の僕は勉強させられているという気持ちが強かったので、休講になるととてもうれしかったんですね(笑)。今思うと、「なんでもったいないことを……」という話なんです。

【小倉】 ゴルフ部の後輩に向けて何かありますか。

【平井】 私は大阪学院大学ゴルフ部が強いということも知らず、大学からゴルフを始めました。ですから、





簡単にレギュラーになれるような甘いクラブではなかったのですが、4年間で楽しい思い出がたくさんできました。

「ゴルフ部に入ってよかったなあ」と感じるの、人に対する思いやりの心が持てたことです。強豪だけに上下関係にもとても厳しく、時には先輩たちから理不尽な仕打ちも受けました(苦笑)。

僕らの世代は『巨人の星』を見て育ちましたので、苦しさや悔しさをばねに成長するというのは、自然に受け入れられたことなのですが、それが度重なるうち、「なんでこんなことされるんだろう。どっかでやめないといけない」とみんなが思い始めたんですね。3年次の夏が終わると幹部になる。幹部になると好き放題できる。でも、本当にいい仲間にも恵まれたと思うのは、自分たちがそうだったときには、そういった理不尽

なことをすべて廃止しようと全員で話し合いができたことなんです。

そこで、2年次のときに、先輩の行き過ぎた行為に対してクレームを申し立ててボイコットをすることになりました。ちょうど時代の変わり目だったのかもしれませんが、ボイコットをしたことによっていろいろなことが起こりました。大学生といえいい大人ですから、胸のうちも言い合って、結果的にはよい方向に向けることができたと思っています。ただ、自分たちが幹部になったとき、偉そうにできなくて少し残念でしたけど(笑い)。

【小倉】 クラブ活動やサークルなどに参加しないまま卒業していく学生が最近増えてきています。クラブ活動では精神的な面を鍛えられるというよい面があり、同時に上級生になるとみんなをまとめていかなければいけないという難しさもあったと思

います。しかし、そういうことを経験することで何か得られたものがあるのではないかとと思うのですが。

【平井】 大学は本来、学問をするところであると考えています。しかし今、会社経営に携わり、人を採用するという立場に立って思うことは、学問を身につけるだけではなく、同時に人生についても学んでほしいということです。大学時代はそれほど制約もなく、ある程度大人として扱ってもらえる。お酒も飲めるし、たばこも吸える。もちろん、自分の言動には責任を持たなくてはなりません。人生において、いちばん自由に自分の意思でいろいろな経験ができる大切な時期ではないかなと思っています。

また、親に学費を払ってもらっている学生が大半でしょうから、それに対する感謝の気持ちを忘れず、何か一つ、とことん追求できるものを見つけてほしいですね。

それは学問でもいいですし、クラブ活動でもいい。友達との関係でもかまいません。「ここまでよくやりきたな」と思えるものを何か一つでも持ってほしいと思います。

私はゴルフの腕前はそれほど上達しなかったのですが、クラブ運営というか、クラブの中で先輩のしごきに耐えながら、なおかつそれを廃止したという成果を残し、一つ大きな仕事をやり遂げたという満足感があ

りました。人とかかわり方、人と思慮通することの難しさ、そういったものを数多く学ぶことができたと思います。

私たちの時代で雰囲気切り替えたから、今のゴルフ部が強いんだと思ってるんです(笑い)。それまでずっと優勝できなかったんですから。私たちが優勝できなかったのは、そういうものがじゃまをしていたんじゃないかなあと思います。やはり、のびのびゴルフを楽しまないね。何事も楽しくなければ上達しないと思いますから、「今強いのはやっぱり僕らのおかげやな」と冗談で同窓会的时候会に言っています。そんなこと今のメンバーはこれっぽっちも思っていないでしょうが(笑い)。

今の学生に言いたいのは、何でもいから何か夢中になれるものを見付けるべきだということです。私は面接官をやっており毎年800人くらいの学生と会っているわけですが、だんだんと特徴のない学生が増えてきたという印象を受けます。多分、そういう子は、クラブも入っていないし、アルバイトも少しはやっているみたいだけど、授業もきちんと出ていないんじゃないかと受けて取れますね。

【小倉】 最後に、今後の将来展望を含めて学生へのアドバイスを総括していただけますか。

【平井】 私も含めてなんです、これ

からの時代を作っていくべき者として、もっと自信を持ってほしいと思います。

私は伝統的な産業の中に身を置いていますから、扱う商品も昔ながらの物が多くあります。それらは時代のニーズに合わせて少しずつ変化しながら、しかし受け継がれてきた伝統は変わることなく、今日まで愛されてきました。例えば我々の千枚漬も、途中で愛されない時代があったら消えていってしまっているわけですよ。ですから我々はそういう先代から受け継がれてきたものを守らなければいけないですし、知らなければいけない。でもそれをそのままやっていく必要はないということです。

学問も含めて全部そうだと思うのですが、先人たちが築き上げてこ

れたものをしっかりと学んでいくことが我々の大切な義務であると同時に、それを後世にいかにか橋渡ししていくかが我々に課せられた課題であると思っています。その時代に合わせてどのように変化させていくか、日本もその大きな転換期にきているのだと思います。本当は我々ももっと頑張らないといけないのに、頑張っていないような気がするんです。

これから社会に出る皆さんが自信を持って一歩一歩踏みしめていって、その力の後押しで我々ももっともっと頑張れます。先代の作り上げられたものをしっかりと学びながら、次の時代を共に力強く歩んでいきたいと思っています。

【片山】 本日はお忙しい中、貴重な時間を長時間割いていただき、ありがとうございました。



CAMPUS LIFE

9×9の盤上に広がる可能性



情報学部2年次生
長野 裕樹

SPOT 私と将棋の出会いは、だれにでもあるような単純な出来事でした。おじいちゃん子だった私は、いつの間にか祖父と将棋をするようになっていました。しかし、祖父は私になかなか勝たせてくれませんでした。大人げないのか、甘やかしてはいけないと思ったのかは分かりませんが、とりあえず祖父は強かったという印象があります。

そして、負けず嫌いな私は地元の「子ども将棋教室」に通うようになりましたが、今から振り返るとこれがターニングポイントだったと感じています。単なるゲーム感覚だったのが、一気に真剣な格闘技感覚になっていったのです。「やるかやられるか！」一瞬のすきも見せられない一手の重み、勝ち負けがはっきりする残酷さ、団体競技ではないので勝敗は自分ひとりの責任なのです。私が将棋教室に通い始めたのは小学校も6年生になったころですが、どちらかというと甘やかされた環境で育った私にとって、将棋というものは大変重いもののように感じていた記憶があります。しかし、毎日一生懸命勉強して、初めて祖父に勝ったときは涙が出るほどうれしかったです。あの感動があったからこそ、こんなに長い間続けることができたのだと思います。

将棋を通して全国にたくさんの友達ができました。そして、大学にもAO入試で合格しました。友達作りの道具として、心を鍛える道具として、大いに活用できるのが将棋だと思っています。

私は今、10数年間廃部になっていた将棋部を復活させようと思っています。それは、たまたまインターネットで私が個人的に出場した関西学生将棋大会の結果（新人戦ベスト16進出）を見たOBのかたから、「また将棋部を作ってくれないか」と頼まれ、まずはサークル作りから始めています。こうしていろいろつながりを持つことが私の宝物であり、かけがえのない財産なのです。



もっと多くの人にこの「将棋」という格闘技のおもしろさを体験してほしい。そして、「将棋」を通じてたくさんの何かを手に入れてほしいと思います。可能性は無限に広がっています。

これからの活動では、様々な大会に出場することに重点を置きながら、親睦を深められるようなイベントを盛りだくさん企画しています。「大学生活といういちばん自由な時間に何ができるのか」「どれだけ充実した4年間を過ごせるか」は自分次第です。私はこの将棋サークルの活動を通じて、思い切り充実した大学生活を送ろうと考えています。皆さんも一緒に、この9×9の盤上にある無限の可能性を感じてみませんか。



CLUB ACTIVITIES

心理学研究会

私たち心理学研究会は現在17名で活動しています。基本的な活動内容は、文化・学術祭や岸辺祭での展示・論文発表です。それ以外に、吹田市立岸部市民センターでの学外展示発表も行っています。展示発表では、会場に足を運んでいただいたかたに簡単な心理テストも行っています。また、ほかにも業者から心理テストを仕入れて学内で配布するなど、学内外で活動を行っています。

皆さんは「心理学」と聞いてどのようなイメージを持たれますか？ 地味・暗いといったイメージがあるかもしれませんが、決してそのようなことはありません。クラブ活動として部室に集まるのは週に1回程度ですが、授業の空き時間なども部室に集まって楽しく活動しています。そして展示会などの行事前は、夜遅くまで準備をし、来場していただいたかたがたに楽しんでもらえるように、みんなで頑張っています。

部員が一つになって真剣に取り組んだ展示・論文発表の打ち上げは、最高に楽しく盛り上がりがあります。そんな中で、尊敬できる先輩や、仲間に出会えたことをうれしく思っています。大学生活の中でクラブ活動をしている時間は、私たちのこれからの人生の中で貴重な経験となり、大いに役立つことと思います。

これからも皆さんに楽しんでいただけるよう頑張りますので、展示・論文発表の会場にもぜひ足を運んでみてください。部員一同、心よりお待ちしております。

会長 法学部3年次生 小林 弘幸

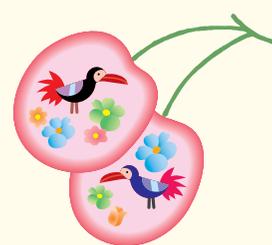


***** 心理テスト *****

あなたは恋人とけんかをしています。間が悪いことに3日後はあなたの誕生日です。どちらかといえば恋人のほうが悪いのですが、恋人は自分から謝ってくるようなタイプではありません。こんなときあなたならどうしますか？

次の4つから選んでください。

- A. 誕生日を祝ってもらえなくても、恋人から謝ってくるまでは絶対に謝らない。
- B. 悪かった部分を話し合ってお互いに謝る状況を作る。
- C. 何もなかったように電話をかける。
- D. とにかく誕生日は一緒に過ごしたいから、自分から謝る。



恋人に誕生日を祝ってほしい。プレゼントだって欲しい。しかし、恋人とけんかをしている。そんな状況への対応のしかたで、あなたの誘惑への弱さが分かります。

- Aを選んだ人…誘惑に強く、自分の意見をしっかり持ったタイプです。
- Bを選んだ人…決して誘惑に強いタイプではないけれど、無理なことには手を出しません。
- Cを選んだ人…思いのほか誘惑に弱いタイプです。
- Dを選んだ人…とても誘惑に弱い人です。

CLUB SCHEDULE

CLUB SCHEDULE

体育会系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
アメリカンフットボール部	9月～12月	関西学生アメリカンフットボールリーグ戦(2部)	王子スタジアム ほか
アイスホッケー部	10月～11月	関西学生アイスホッケーリーグ戦(2部)	アクアピアアイスアリーナ ほか
空手道部	10月10日(日)	全関西学生空手道選手権大会	舞洲アリーナ
	10月17日(日)	関西・東海地区空手道選手権大会	大阪市立中央体育館
弓道部	9月～10月	関西学生弓道リーグ戦(男子3部・女子4部)	各大学弓道場
剣道部	9月5日(日)	大阪学生剣道優勝大会・大阪学生剣道女子優勝大会	未定
	9月20日(月・祝)	関西学生剣道優勝大会・関西女子学生剣道優勝大会	大阪市中央体育館
硬式庭球部	8月18日(水)～28日(土)	関西学生夏季テニストーナメント予選	未定
	9月3日(金)～10日(金)	関西学生夏季テニストーナメント本戦	未定
	9月18日(土)～26日(日)	関西大学対抗テニスリーグ戦(男子2部・女子4部)	各大学テニスコート
硬式野球部	9月～10月	関西六大学野球連盟秋季リーグ戦	西京極球場・南港中央球場 ほか
ゴルフ部	8月4日(水)～6日(金)	関西学生選手権・関西学生女子選手権	鳴尾ゴルフ倶楽部
	8月16日(月)～20日(金)	関西学生男子秋季1部校学校対抗戦	蒲生ゴルフ倶楽部
	9月16日(木)・17日(金)	関西学生女子秋季1部校学校対抗戦	芦屋カンツリー倶楽部
	10月	関西学生男子新人戦・関西学生女子新人戦	未定
	10月27日(水)～29日(金)	関西学生男子会長杯	大甲賀カントリークラブ
サッカー部	9月～10月	関西学生サッカー秋季リーグ(1部)	長居第2陸上競技場、鶴見緑地競技場 ほか
ソフトテニス部	9月4日(土)～10月8日(金)	関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦(女子5部)	各大学コート
	9月20日(月・祝)～22日(水)	関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦(男子3部)	長浜ドーム・彦根市営コート ほか
卓球部	8月	秋季関西学生卓球リーグ戦(3部)	未定
軟式野球部	8月～10月	近畿学生軟式野球連盟主催秋季リーグ戦(1部)	伊丹スポーツセンター ほか
バスケットボール部	9月4日(土)～10月24日(日)	関西学生バスケットボールリーグ戦(2部)	なみはやドーム・京都市立体育館 ほか
	9月4日(土)～10月24日(日)	関西女子学生バスケットボールリーグ戦(3部)	各大学体育館
バドミントン部	9月10日(金)～22日(水)	関西学生バドミントン秋季リーグ戦(男子2部・女子1部)	大阪中央体育館・東淀川体育館 ほか
バレーボール部	8月19日(木)～21日(土)	関西バレーボール大学男子選手権大会	未定
	9月12日(日)～10月24日(日)	関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦(男子2部)	各大学体育館
	9月19日(日)～10月24日(日)	関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦(女子5部)	各大学体育館
ハンドボール部	9月～10月	関西学生ハンドボール秋季リーグ戦(4部)	伏見体育館 ほか
洋弓部	8月23日(月)～25日(水)	関西学生アーチェリーフィールド選手権大会	白梅
ラグビー部	9月～12月	関西大学ラグビー秋季リーグ戦(Cリーグ)	各大学グラウンド
ラクロス部	8月14日(土)～10月	関西学生ラクロスリーグ戦(男女共2部)	服部緑地陸上競技場 ほか
陸上競技部	10月9日(土)	関西学生対校女子駅伝競走大会	神戸しあわせの村
	10月19日(火)～22日(金)	関西学生陸上競技学年別選手権大会	長居第2陸上競技場

独立系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
吹奏楽部	8月12日(木)	大阪府吹奏楽コンクール	大阪府立青少年会館

※現在未定の行事や大会につきましては、詳細が決まり次第、随時ホームページでお知らせします。
<http://www.osaka-gu.ac.jp/club/index.html>

学生相談センターだより

ナニゴトノ不思議ナケレド

カウンセラー・国際学部 助教授 安田 一之

東の空がかすかに白みを帯び、今まさに太陽が昇ろうとする。その太陽に手を合わせる人は多い。元日の朝日は特別で「初日の出」といってわざわざ遠くまで見に出かける人もいる。夕日にもまた同じようなものがあり、落日・落陽として何か感じる人の話をよく耳にする。人々は朝日と夕日には特別な感情を抱くのだが、日中の太陽にはそれほど関心を示さない。私たちは朝日も夕日も昼の太陽も同じものだと知っているが、それを受け取る心は、朝・昼・夕で違うようだ。

美しい花を見て、「これは〇〇という花だ」と花の名前を言い当てて過ぎ去る人と、名前は分からなくてもしばらく立ち止まって花に見とれている人がいる。この場合、後者のほうが、心の中にその花のイメージがより一層強く残ることだろう。

これらのことから、知的に事態を受け止めることと、心で受け止めることには大きな違いがあることが分かる。心で受け止めるほうが、一つの感動として我々の気持ちの中に残る。そして、その感動が人の心を豊かで潤いのあるものにしてくれる。心の癒しも感動する心の中から生まれてくる。美しいものに触れたときの心のときめきと、その後の満たされたような気持ちが、そのことを教えてくれる。

さて、教育は知的に受け止め理解することに重きを置いてきた。「朝も昼も太陽は同じだ」とか、「その花は何科に属する何という花だ」ということを大事にしてきたのだ。それは教育の「教」としては重要なのだが、心に関係する「育」の領域が忘れられがちになってしまっているように思える。新しいことを学ぶ喜びや、発見の醍醐味を味わう「学び」であれば感動は残るのだが、ただ知識のため、点数のための「学び」では感動は得られない。知識というレッテルを体に張りつけて点数を取ったとしても、レッテルはいつかはがれて飛んでいってしまう。残るのは潤いも感動もない醜い肉体だけである。

《^{ばら}薔薇ノ木ニ^{いば}薔薇ノ花サク。ナニゴトノ不思議ナケレド》と北原白秋は詠んだ。薔薇の木から薔薇の花が咲くのは《ナニゴトノ不思議》もないことではあるが、しかし不思議だと詩人は感じた。ごく当然のことに改めて感動する心がそこにはある。この詩の鑑賞者には様々なイメージが浮かぶだろう。例えば「あの小さな球根の中に、チューリップの鮮やかな色が潜んでいるのも《ナニゴトノ不思議》もないことではあるが、しかし……」と。

「私は生きている」と実感するのは心で感じることだ。いくら業績を上げて、財産を得たとしても、生きているという実感がなかなか得られず心に空虚感を感じている人は多い。痴呆症は感動がなくなる疾病と言う精神科医もいる。

心を生き生きとさせて、感動の経験を重ねていきたい。そのためにはじっくりと自然の雄大さと微妙な動きを味わうのがいい。自然の厳しさに心を動かされるのもいい。芸術作品に触れるのもいい。一服のお茶をしみじみと味わうのもいい。心をゆったりと遊ばせて、自然や芸術の中に手足を伸ばし、身体をゆだねてみるのだ。そのような生活の中から潤いが生まれ、心が豊かに育っていく。

CAMPUS NEWS DIGEST

イースターウィーク 2004 ~Easter Week~



〔4月12日(月)~16日(金) I-Chat Lounge〕
 イース・キリストの復活を祝う祭り「イースター」の由来や文化を英語で学びました。また、卵の殻を使ってイースターエッグを作成するなど、ふだんは味わえない体験ができました。これを通じて、参加者は英語や異文化をもっと学びたいという刺激にもなったようです。

DECフォーラム ~Making Connection to Learners and Learning~



〔5月11日(火) 2号館地下1階02教室〕
 ハワイ大学からジョイス・ツノダ博士、ジョン・モートン博士、デービッド・ラスナー博士、米国の教育組織「League for Innovation」からテリー・オバニオン博士、マーク・ミリロン博士を講師に招き、E-Learningの先達である米国の教育事例紹介しながら「学生を中心とする大学の教育効果」「教育とマルチメディアの適切なかわり」についての講演を実施しました。日本国内においてもこれらの研究が数多くなされており、フォーラム参加者からは国内の状況と比較した質問が出され、活発な意見交換が行われました。

アラン・ウォン氏とのフリーディスカッション ~Free Discussion with Mr. Alan Wong~



〔4月23日(金) 2号館地下1階02教室〕
 ハワイで有名なレストラン「Alan Wong's Restaurant」のオーナー兼シェフのアラン・ウォン氏と英語でフリーディスカッション(自由討論)を行いました。学生がアラン氏に英語で質問をし、その一つひとつに丁寧に応えていただきました。

公開講演会 ツール・ド・モンブランの魅力



〔5月13日(木) 2号館地下1階02教室〕
 登山発祥の地フランス・シャモニーの観光局から、ベルナル・ブルドーム氏(シャモニー観光局局长)と横山 日出現氏(同部長)をお招きし講演会を開催しました。「ツール・ド・モンブランの魅力」と題して、フランス、イタリア、スイスにまたがるヨーロッパ最高峰のモンブラン山麓を周るトレッキングの魅力について語っていただき、多くの学生が感銘を受けていました。

学内会社説明会



〔5月18日(火)~21日(金) 2号館1階ラウンジ〕
 約60社の企業を招き、4日間にわたって学内会社説明会を開催しました。就職活動が長期化する中、参加した学生からは「今後よい結果が出るように頑張りたい」との声を多く聞くことができました。9月にも「第3回 学内会社説明会」を実施しますので、積極的に参加してください。

アントレプレナーレッスン 情報化社会におけるITビジネス~セキュリティビジネスの最前線~



〔5月27日(木) 2号館地下1階04教室〕
 本学では、ビジネスの社会で活躍できる起業家の育成を目指し、アントレプレナーレッスンを実施しています。講師は、東証マザーズや大証ヘラクレス等の新興証券取引市場に上場した企業の若手経営者を中心にお招きし、最前線のビジネスをテーマに真の起業・ビジネスについて学びます。
 第1回目はイーディーコンプライブ株式会社 代表取締役社長 山口征浩氏をお招きして開催しました。講演内容は、代表取締役社長に就任するまでの経緯や、特徴である「役員立候補制度」や「プロジェクトドライブ制度」についてお話いただきました。当日参加した学生に、「自分のやりたいことには純粋な気持ちで取り組んでほしい。また、それをビジネスとして行うには、物事をいろんな角度から見る力が必要であり、取り組むことによって足りない能力が分かる。やると決めたことは、何が何でもやり抜いてみせるという強い意志を持ってほしい」という熱いメッセージをいただきました。

キャリア講演・就職ガイダンス・ 就職試験対策・キャリアセミナー



就職センターでは、早期化する就職活動に備えて、大学3年次生・短大1年次生を対象に就職ガイダンスをはじめ、様々な行事を開催しています。キャリア講演では就職部長 狩俣 正雄教授、また本学OBであるアクサ生命保険株式会社のマネージャー 山崎 俊明氏を講師としてお招きし、ご講演いただきました。1年次生を含む就職意識の高い学生が集まり、有意義な講演となりました。また就職ガイダンス、就職試験対策、キャリアセミナーでは多数の学生の参加があり、就職活動本番に向けての意欲が感じられました。個別の相談や模擬面接にも力を入れていますので、積極的に利用してください。

ゴルフ部・剣道部 壮行会



〔6月10日(木) 15号館2階03教室〕
 ゴルフ部と剣道部の全国大会での活躍を期待して体育会本部主催による壮行会が開催されました。結果は次のとおりです。

クラブ名	大会名	順位
ゴルフ部	全国大学ゴルフ対抗戦	9位
	全国女子大学ゴルフ対抗戦	5位
剣道部	全日本学生剣道選手権大会	2回戦 敗退

今回の壮行会における体育会本部をはじめ、リーダー部、チアリーダー部、吹奏楽部の力強い応援は、壮行会に参加したほかのクラブ部員へのさらなる力となり、今後多くのクラブが全国で活躍してくれるでしょう。

学内講演会
The Cambridge Model of University Education



〔6月15日(火) 2号館地下1階02教室〕
 本学の提携大学であり、歴史と伝統を誇るケンブリッジ大学クイーンズカレッジ(イギリス)から、学長のジョン・イトウェル卿およびシニアチューターのマリー・ミルゲート博士をお招きして教職員を対象に講演会を開催いたしました。まずイトウェル卿からケンブリッジ大学クイーンズカレッジと本学との20余年に渡る友好関係についての紹介がありました。続いて、ミルゲート博士から「The Cambridge Model of University Education」をテーマに講演いただきました。100名を超える参加者はチューター制度の導入といったケンブリッジ大学独自の教育方法の紹介に、興味深く聞き入っていました。

DEP (Distance Education Program)
公開プレゼンテーション



〔6月29日(火) 2号館地下1階01教室〕
 DEPでの日ごとの学習成果を発表する場として、「コミュニケーションスキルⅠ・Ⅱ」の受講生17名による公開プレゼンテーションを開催し、当日は学生・教職員を合わせて98名の見学者がありました。
 受講生は聴衆の前でスピーチを行うことに、初めは緊張している様子もうかがえましたが、いざ自分の順番となると遺憾なく力を発揮することができました。これまで学んできたことを立派に発表できたことが、今後の彼らの自信となるでしょう。プレゼンテーションの最後には、この日のために来日された担当者のドリック・リトル博士(ハワイ大学ホノルルコミュニティカレッジ)から、授業を一度も欠席することのなかった学生、およびコミュニケーションスキルの授業を3学期間にわたり受講し、コースを修了した5名の学生が発表され、表彰がおこなわれました。参加者からは大きな拍手が沸き起こり、公開プレゼンテーションは盛況のうちに終了しました。これからもDEPのさらなる充実を図っていきます。

英語スピーチコンテスト



〔6月24日(木) 1号館地下1階02教室〕
 第10回短期大学英語スピーチコンテストを開催し、9名の出場者が、将来の夢や日ごろ感じている様々な話題をテーマに、熱のこもったスピーチを披露しました。
 このコンテストは、11月下旬に開催される近畿・大阪私立短期大学英語弁論大会への出場選考を兼ねていることもあり、会場には出場者を応援する大勢の聴衆が集まり、緊張感と熱気に包まれる中、非常にレベルの高い争いとなりました。
 優勝 高橋 さやか 「Music is Wonderful」
 第2位 藤野 紗江 「My Experience in Studying Abroad」
 第3位 松永 夕香里 「I Can't Speak English」
 高橋さんの近畿・大阪私立短期大学英語弁論大会での健闘を祈りたいと思います。

保護者就職説明会



〔7月4日(日) 15号館2階03教室〕
 大学3・4年次、短大1・2年次生の保護者を対象に保護者就職説明会を実施しました。午前部では、株式会社アルゴ21大阪支店 総務部 採用担当部長 佐々木 道正氏をお招きし、「企業の求める人物像」をテーマにご講演いただきました。午後部では年次ごとに分かれ、就職センタースタッフが現在の就職を取り巻く環境や本学の就職状況、またその中で学生の就職活動をどうサポートしていくかをテーマに説明会を実施。説明会後も就職センターに多数の保護者のかたが見学や懇談に訪れるなど、厳しい就職状況の中、保護者のかたがたの就職意識の高さを感じられました。

INFORMATION
August ~

庶務課

教育懇談会

教育懇談会は、保護者の皆様に、成績・出席状況を基に学生の修学状況をご説明するとともに、就職活動および大学生生活全般と、本学の教育活動についてより一層ご理解いただくことを目的としております。本年度は、下記の日程により実施いたします。多数のご参加をお待ちしております。

なお、申し込みは、別途送付しております案内状の「出席回答ハガキ」をご利用ください。

平成16年度 教育懇談会 会場一覧

開催日	開催地	会場名
8/24(火)	香川	リーガホテルゼスト高松
8/25(水)	徳島	ホテルクレメント徳島
	福井	福井ワシントンホテル
8/27(金)	島根	松江東急イン
	愛知	名鉄グランドホテル
8/28(土) 8/29(日)		本学
8/30(月)	京都	ホテルグランヴィア京都
8/31(火)	兵庫	神戸東急イン

開催日	開催地	会場名
9/3(金)	奈良	奈良ロイヤルホテル
9/7(火)	福岡	三井アーバンホテル福岡
	富山	富山全日空ホテル
9/8(水)	広島	ホテルグランヴィア広島
	石川	ホテル日航金沢
9/9(木)	岡山	ホテルグランヴィア岡山
9/10(金)	愛媛	東京第一ホテル松山
	高知	コンフォートホテル高知駅前
9/11(土) 9/12(日)		本学
9/13(月)	和歌山	ホテルグランヴィア和歌山
9/14(火)	東京	銀座東武ホテル
9/15(水)	静岡	浜松名鉄ホテル

2004 フェニックス フェスティバル 「古典芸能のタベ」～大阪学院大学薪能～

10月18日(月) 17:30 始

場 所：17号館前 特設舞台(雨天時：体育館) 対 象：保護者・在学生・一般
 入場料：無料 問合先：フェニックス フェスティバル係 Tel (06) 6381-7122

DEC (Digital Education Center)

The 3rd Digital Storytelling Festival ～伝えたい思い、夢や感動。あなたの物語を形にしてみませんか?～

「Digital Storytelling Festival」は、プレゼンテーションソフトを利用してパソコンで作成したストーリー(=作品)を発表するコンテストです。高校生部門・教員部門のほか、今年度は新たに大学生部門も募集します。

後援：大阪府教育委員会(申請中)・吹田市教育委員会・箕面市教育委員会

募集区分	①高校生	②大学生	③教員(小・中・高校)
作品区分	Diary部門		自由
	Comedy部門		
	Drama部門		

なお、各部門の優秀な作品には、10月30日(土)の授賞式にて表彰し、賞状・盾・副賞を進呈します。募集要項など詳しくは本学ホームページをご覧ください。
 (お問い合わせ) DEC (Digital Education Center) dec@uta.osaka-gu.ac.jp



昨年度授賞式の様子

メディアセンター

「Cyber Access」について

「Cyber Access」は自宅など学外からでもOGUNETに接続してWeb PhoenixやCaddieへのアクセスが可能となる本学独自のシステムです。「Cyber Access」の利用には事前申請が必要ですので、メディアセンター受付カウンター(2号館1階オープンラボ内)までお越しください。
 (お問い合わせ)メディアセンター media@uta.osaka-gu.ac.jp

入試事務室

平成17年度 入学試験概要

大阪学院大学 平成17年度 入学試験日程一覧

制度	日程・方式	選考日	願書受付期間
特別推薦入学 (スポーツ)	A日程	平成16年10月3日(日)	平成16年9月13日(月)～9月24日(金) 窓口受付:9月25日(土)・27日(月)
	B日程	平成17年1月23日(日)	平成17年1月7日(金)～1月14日(金) 窓口受付:1月17日(月)
AO入試	A日程 スカラシップ	平成16年11月3日(水・祝)	平成16年10月18日(月)～10月22日(金) 窓口受付:10月23日(土)・25日(月)
	B日程 自己アピール	平成17年1月23日(日)	平成17年1月7日(金)～1月14日(金) 窓口受付:1月17日(月)
公募制推薦入学	A日程	平成16年11月3日(水・祝)	平成16年10月18日(月)～10月22日(金) 窓口受付:10月23日(土)・25日(月)
		平成16年11月7日(日)	平成16年10月25日(月)～10月29日(金) 窓口受付:10月30日(土)・11月1日(月)
	B日程	平成16年11月21日(日)	平成16年11月8日(月)～11月12日(金) 窓口受付:11月13日(土)・15日(月)
		平成16年11月23日(火・祝)	
	C日程	平成16年12月12日(日)	平成16年11月29日(月)～12月3日(金) 窓口受付:12月4日(土)・6日(月)

※1 特別推薦入学(スポーツ)は事前にセレクションを実施します。

※2 AO入試は事前にインタビューを実施します。インタビューのエントリー期間は
 A日程:平成16年7月1日(木)～10月7日(木) B日程:平成16年11月8日(月)～12月10日(金)です。

大阪学院短期大学 平成17年度 入学試験日程一覧

制度	日程・方式	選考日	願書受付期間
特別推薦入学 (スポーツ)	A日程	平成16年10月3日(日)	平成16年9月13日(月)～9月24日(金) 窓口受付:9月25日(土)・27日(月)
	B日程	平成17年1月23日(日)	平成17年1月7日(金)～1月14日(金) 窓口受付:1月17日(月)
AO入試	A日程	平成16年11月3日(水・祝)	平成16年10月18日(月)～10月22日(金) 窓口受付:10月23日(土)・25日(月)
	B日程	平成17年1月23日(日)	平成17年1月7日(金)～1月14日(金) 窓口受付:1月17日(月)
公募制推薦入学	A日程	平成16年11月3日(水・祝)	平成16年10月18日(月)～10月22日(金) 窓口受付:10月23日(土)・25日(月)
		平成16年11月7日(日)	平成16年10月25日(月)～10月29日(金) 窓口受付:10月30日(土)・11月1日(月)
	B日程	平成16年11月21日(日)	平成16年11月8日(月)～11月12日(金) 窓口受付:11月13日(土)・15日(月)
		平成16年11月23日(火・祝)	
	C日程	平成16年12月12日(日)	平成16年11月29日(月)～12月3日(金) 窓口受付:12月4日(土)・6日(月)

※1 特別推薦入学(スポーツ)は事前にセレクションを実施します。

※2 AO入試は事前にインタビューを実施します。インタビューのエントリー期間は
 A日程:平成16年7月1日(木)～10月7日(木) B日程:平成16年11月8日(月)～12月10日(金)です。

平成16年度 オープンキャンパス開催日程

開催日	開催時間
7月18日(日)	10:00～15:00 ※事前申し込み不要
8月1日(日)	
8月24日(火)	
10月10日(日)	

<実施内容>

- 特別講演会・特別イベント●入試概要説明会●各種個別相談
 - ホスピタリティを学ぼう●ミニ講義体験●CALL教室体験
 - キャンパス見学ツアー●学食ランチ体験 ほか
- 保護者、高校1・2年生の皆さんの参加も歓迎します。

国際センター

2005-2006 交換留学生募集(概要)

- 願書受付:平成16年10月
- 出願期間:平成16年11月1日(月)～11月30日(火)
- 選考:平成16年12月(書類審査・面接・筆記試験)

派遣先大学名	派遣期間	人数	留学先での奨学内容
セント・トーマス大学(アメリカ)	2005年9月～2006年5月	1名	授業料免除・寮費免除・食費免除
ハワイパシフィック大学(アメリカ)	2005年9月～2006年5月	2名	授業料免除
カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(アメリカ)	2005年8月～2006年5月	2名	授業料免除
ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ(アメリカ)	2005年8月～2006年7月	2名	授業料免除
オルレアン大学(フランス)	2005年9月～2006年5月	2名	授業料無料・寮費免除・食費補助
トリア大学(ドイツ)	2005年10月～2006年7月	2名	授業料無料・寮費免除・食費補助
ヴェクショー大学(スウェーデン)	2005年8月～2006年6月	2名	授業料無料
ミッドスウェーデン大学(スウェーデン)	2005年8月～2006年6月	2名	授業料無料
イエブレ大学(スウェーデン)	2005年8月～2006年6月	2名	授業料無料

※留学期間中は、本学での授業料が半額免除されます。
 (お問い合わせ)国際センター inoffice@uta.osaka-gu.ac.jp

就職センター

就職センター主催の年内行事予定(大学3年次生・短大1年次生対象)

月	日	内容	説明
9月	15日(水)	就職ガイダンス 特別編	内定者、未内定者双方の抱える悩みを解決するガイダンス。
	30日(木)	就職ガイダンス 特別編	クラブのリーダーやマネージャーに就職活動の流れなどを説明するガイダンス。
10月	12日(火)	キャリアセミナー⑥	業界研究(総論)―仕事とは何かを考える―
	12日(火)～21日(木)	キャリアセミナー⑦	業界研究(各論<8業界>)―業種、職種についての理解を深める―
	12日(火)～21日(木)	就職試験対策③-2	ワークショップ(企業研究から面接まで)、全学生と個別・グループ面談形式で進め、個別の状況を把握し、相互の理解を深める。
11月	26日(火)～30日(土)	キャリアセミナー⑧	各社ナビ利用方法を説明し、ナビの登録から企業へのエントリー方法までを会得する。
	6日(土)	キャリアセミナー⑨-1	面接試験の攻略法、面接の種類と対応のしかたなど、人事採用担当者の選考の視点を検証する。
	8日(月)～13日(土)	キャリアセミナー⑨-2	6日(土)のセミナー⑨-1欠席者のために、当日撮影のビデオに基づき、面接試験の攻略法等を解説。
	13日(土)・20日(土)	第3回就職ガイダンス 1・2	内定を勝ち取るためのコツやメッセージが聞ける「内定者体験談」などためになるプログラムを実施。
	18日(木)	就職試験対策⑤-2	今や必須アイテムのエントリーシート。自分をアピールし、人事採用担当者の気持ちをつかむ文章とは何かを学ぶため、エントリーシート攻略テストを実施。
	25日(木)	就職ガイダンス 特別編	女子を取り巻く採用環境を知り、厳しい就職戦線を勝ち抜くためのコツについて説明する、女子学生対象のガイダンス。
	27日(土)	就職ガイダンス 特別編	採用内定者を迎え、じかに体験談を聞くことにより内定を勝ち取るためのノウハウを学び、先輩からのメッセージを感じて交流。

※平成17年1月以降も様々な行事を開催しますので、就職活動本番に備えて積極的に参加してください。
 (お問い合わせ)就職センター career@uta.osaka-gu.ac.jp

2004年 秋冬講座 講座一覧

多様な興味・関心にお応えすべく次のとおり多彩な講座を開講します。

生活・教養コース
エレガントマナー講座入門編（女性対象）
カウンセリング入門
カウンセリング実践
コーチング実践 ―ロールプレイを通じて 日常生活に役立つコーチングスキルを体験！―
手話初級―入門を深めてみましょう―
イベントフラワーアレンジメント ―オリジナル Xmasリース―
イベントフラワーアレンジメント ―モダンスタイルの松飾りアレンジ―
京都歴史散歩 ―秋の京都・異界めぐり―
実際の裁判をみてみよう
絵手紙を楽しもう
暮らしに役立つ色彩 ―すぐに使える上手なコーディネートと色の秘密―
ここが知りたいお天気の不思議 ―お天気のへえ〜―
楽しいウクレレ入門
楽しいフラダンス入門（女性対象）
手漉し紙作りの基本
デッサンを楽しむ
住まいの処方箋
家庭のライフプラン・マネープランを考える
絵本の扉をひらく ―世界のクリスマスの絵本を楽しむ―
Making Heart - Warming Stories ―英語で心温まる物語を作りませんか―
マルチメディアコース
Word 応用
Excel 応用
デジタルカメラを使って年賀状・パースデーカードを 作りましょう
ホームページ作成
Power Point
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Word2000 受験講座
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excel2000 受験講座
基本情報技術者受験講座

語学コース
TOEIC®テスト スコアアップ講座
英会話入門
英会話初級
中国語会話入門
中国語会話初級
ドイツ語会話入門
ドイツ語会話初級
フランス語会話入門
フランス語会話初級
イタリア語会話入門
ドラマ「冬のソナタ」で学ぶハンガール語会話
外国語としての日本語実践編 ―日本語を教えてみませんか―
健康・スポーツコース
テニス入門
テニス初級
ゴルフ入門
中・上級者のためのゴルフ
はじめてのラウンドレッスン
セルフケアセミナー
リハビリテーション医学入門講座 ―関節痛に対する理学療法―
リハビリテーション医学入門講座 ―脳卒中のリハビリテーション―
リハビリテーション医学入門講座 ―スポーツ障害とテーピング基礎編―
就職対策コース
就職筆記試験対策講座（SPI・一般常識）
就職面接対策講座
エアライン試験対策講座
公務員 警察官・消防官・国立大学職員等 試験対策講座（地上・国Ⅱ入門講座）
公務員 国Ⅱ・地方上級試験対策講座 （専門セレクトコース）
法科大学院適性試験対策講座

資格取得コース
社会保険労務士受験講座
税理士受験講座（簿記論）
ビジネス実務法務検定3級受験講座
販売士検定3級受験講座
簿記検定3級受験講座
医療事務受験講座
秘書技能検定2級受験講座
インテリアコーディネーター受験講座（2次試験対策）
フラワーデザイナー資格検定（NFD）3級受験講座



受講生の発表会を兼ねた“Luau”（ハワイ式パーティ）の様子

※詳細につきましては、ホームページをご覧ください。かエクステンションセンターまでお問い合わせください。
 エクステンションセンター（2号館2階）〔9～17時受付（日曜日・祝日等を除く）〕
 TEL：06-6381-8434（代表） URL：http://www.osaka-gu.ac.jp/life-edu/index.html
 [お問い合わせ] エクステンションセンター exoffice@uta.osaka-gu.ac.jp

教務課

9月22日（水）から9月30日（木）まで後期オリエンテーションを行います。履修登録をした後、必ずパソコン（学生用ホームページ）で登録内容を確認してください。その際、OGUNETのユーザIDとパスワードが必要となりますので、未登録の学生や、ID・パスワードを忘れた学生は2号館1階のメディアセンター受付カウンターで手続きを済ませておいてください。

短期大学事務室

前期試験の結果は、後期オリエンテーションで配付する「成績表」で発表します。
 この結果を基に、卒業要件等を確認しながら後期の履修計画を立て、慎重に科目を選択してください。なお、時間割は前期と同様、Webにより登録します。履修登録後、学内に設置されているパソコンを利用して、個人別履修情報を確認することができますので、大いに活用してください。

TIMETABLE

8月30日（月） 前期末卒業会発表（大学・短期大学）	9月25日（土） 卒業式（大学・短期大学・大学院）
前期追・再試験申込受付（大学・短期大学） 〔至31日（火）〕	27日（月） 後期オリエンテーション（大学・短期大学） 〔至30日（木）〕
31日（火） 前期試験（法科大学院）〔至5日（日）〕	30日（木） 夏期休暇終了（共通）
9月6日（月） 前期追・再試験（大学・短期大学） 〔至8日（水）〕	10月1日（金） 後期授業開始（共通）
11日（土） 前期追試験（法科大学院）〔至12日（日）〕	15日（金） 後期分学費納付期限（共通）
22日（水） 後期オリエンテーション（大学） 〔至30日（木）〕	22日（金） 岸辺祭〔至26日（火）〕（全学休講）